

2006年9月7日

期待される市場メカニズムによる「過熱体質」の改善

◇ 中国経済に「過熱体質」をもたらす地域間の投資・生産競争

4月の貸出基準金利引き上げ以降、7月、8月と2ヵ月連続で行なわれた預金準備率の引き上げ、さらに8月に再度の利上げと矢継ぎ早の引締め政策にもかかわらず、中国の投資過熱傾向はなかなか治まりそうにない。このため果たして中央政府は本当に投資過熱を抑制しようとしているのか、と疑問視する声もある。しかし、問題は中国経済の「過熱体質」に金融引締め政策はあまり効かない、ということにあるのではないだろうか。

中国経済の「過熱体質」とは、改革・開放政策と同時に進められた地方分権により、地域間の投資競争・重複生産が起り易いという傾向のことである¹。実際、投資過熱（過剰生産）が指摘されているセメントの生産状況を見ると05年には中国の31の省・市・区（22省、4直轄市、5自治区）の全てで生産が行なわれている。同様に鉄鋼類もチベット自治区を除く30省・市・区で生産されている。

地域間の競争が改革・開放と相まって中国経済の活性化につながった²ことは否定できない。また、日本の26倍と国土が広い中国では複数の地域で同一製品の生産が行なわれることはある程度、理解できる。しかし、31全ての省・市・区でセメントを生産することが果たして経済的に合理的かどうかは大いに疑問と言えよう。

◇ 「過熱体質」改善に効いた価格の圧力

もっとも、この「過熱体質」も市場メカニズムの浸透により少しずつ改善が進んでいるようである。例えば、「過熱体質」からくる過剰生産の典型とみられたカラーTVの生産状況をみると、地域間の生産競争を背景に97年には31省・市・区のうち実に28省・市・区で生産が行なわれており、当時、カラーTVを生産していなかったのはチベット自治区、青海省、寧夏回族自治区の3地域のみであった（2頁図表1、5頁補遺ご参照）。しかし、05年にカラーTVを生産している省・市・区は16と97年の約半分に減っている。同様の生産集約傾向は洗濯機についても見られる。

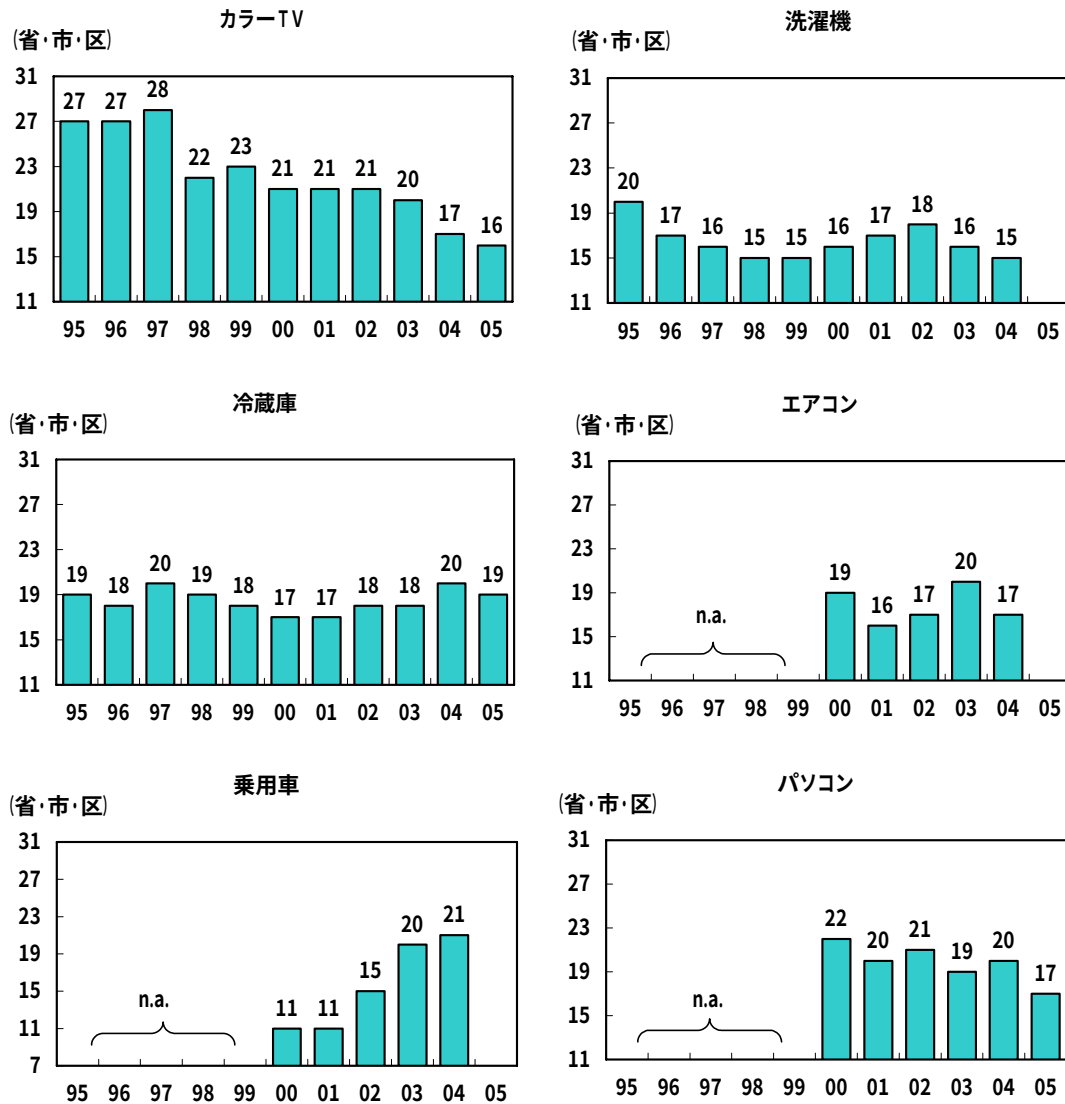
生産競争から一転、生産集約が進んだ直接的な要因は生産過剰による値崩れにあると考えられる（2頁図表2）。実際、同じ家電製品でも一旦値崩れ傾向になった後、価格が持ち直している冷蔵庫やエアコンでは生産地域数に明確な逓減傾向は見られない。

さらに、地域意識が強く、採算性を無視した地域間生産競争が一般的な中国で、不採算事業の整理が進むようになったもうひとつの要因として物流インフラの整備が指摘できる（3頁図表3、図表4）。かつては分断されていた³各省・市・区の市場の一体化が進み、他地域との競合に晒される中で不採算事業の継続が難しくなっていると見られる。

¹ 鍾非、「改革後における中国の地方分権からの教訓---事実と理論---」『アジア経済』XLIV-8、2003年8月。

² ³ 同上。

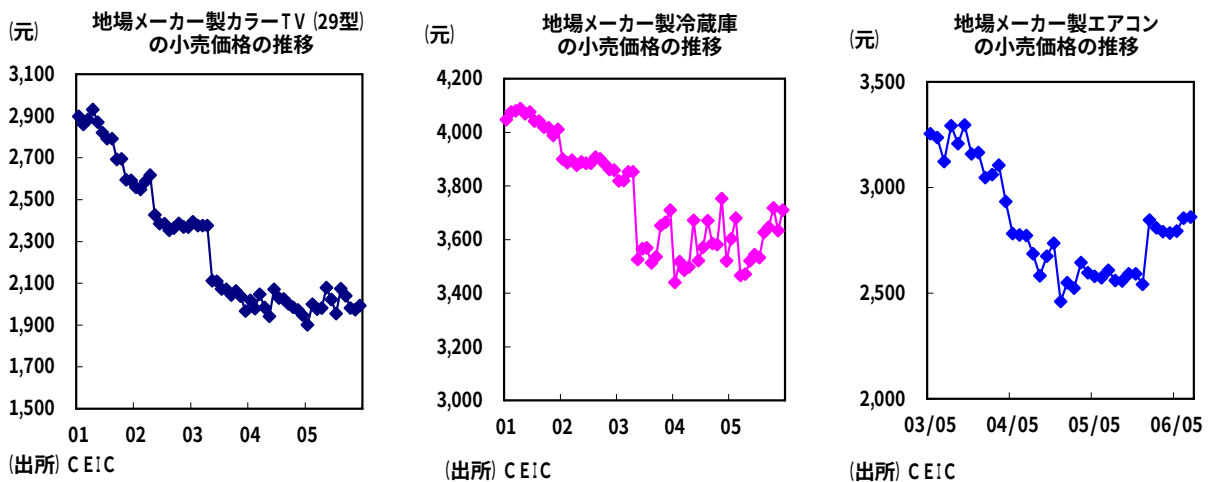
図表1. 主要工業品を生産する省・市・区の数推移



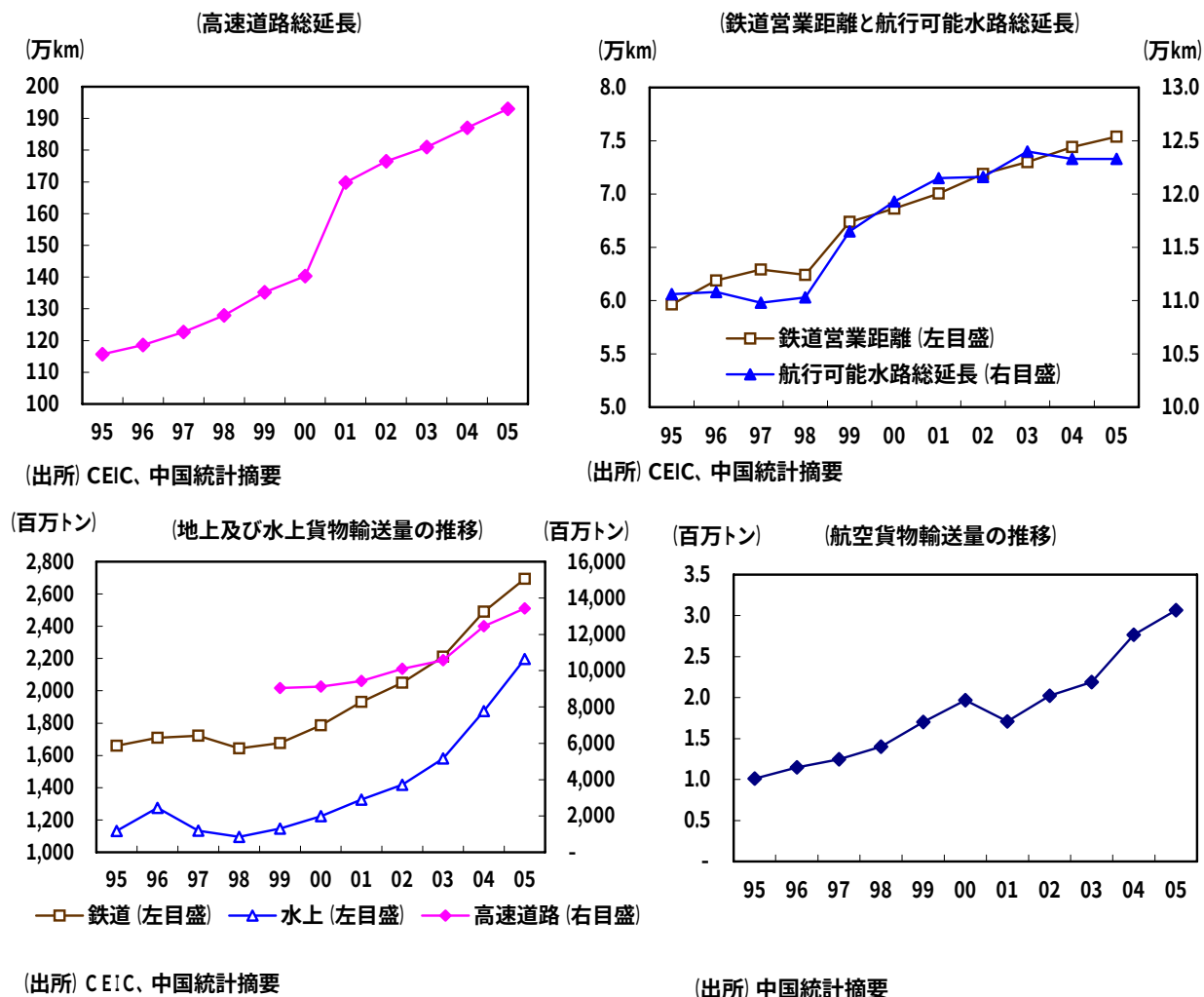
(注) 省・市・地は全部で31 (22省、4直轄市、5自治区)。ただし、重慶市の直轄市昇格は97年のため、それ以前は全部で30省・市・地区。

(出所) 中国統計年鑑、中国統計摘要、他

図表2. 家電製品の小売価格の推移

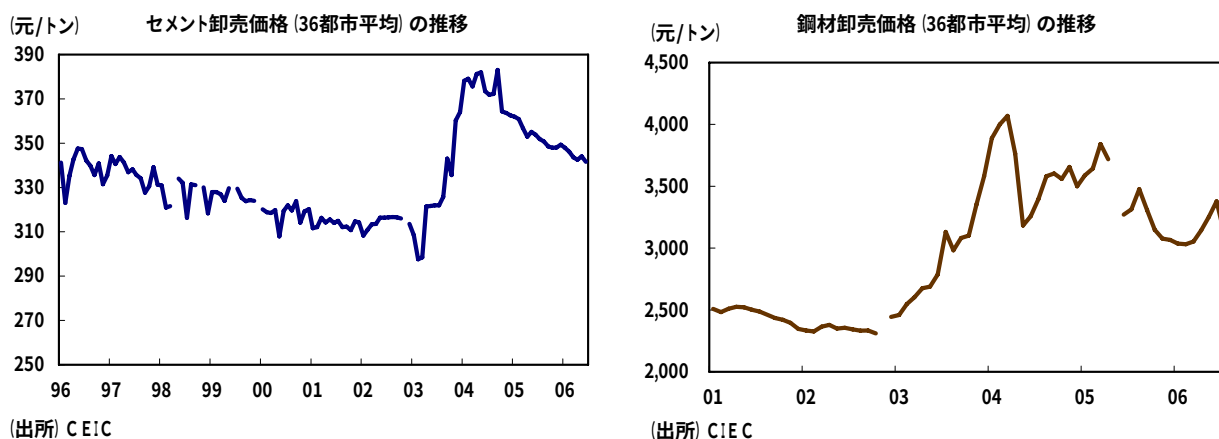


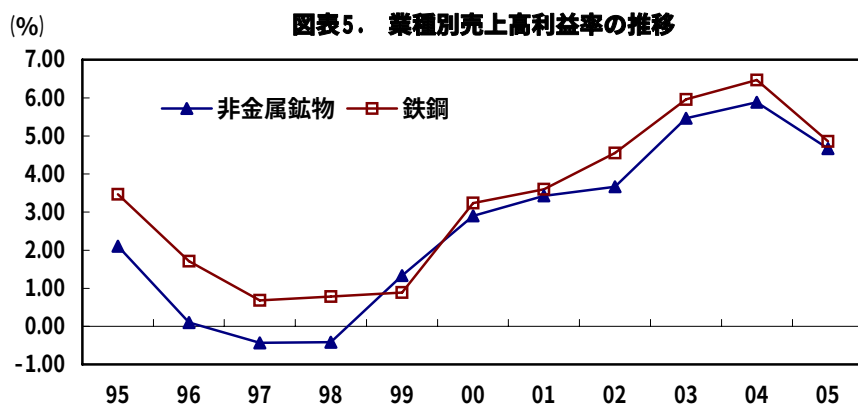
図表3. 進む物流インフラの整備と大きく伸びる貨物輸送量



ところで、価格圧力を通じた「過熱体質」是正のプロセスの端緒は現在、過熱業種に指定されているセメントや鉄鋼にも見られる。すなわち、04年以降、生産過剰からセメント、鋼材とも価格が下落傾向にあり、その結果、各業種の収益率も04年をピークに低下している（図表4、4頁図表5）。

図表4. 過剰生産で低下するセメント並びに鋼材価格

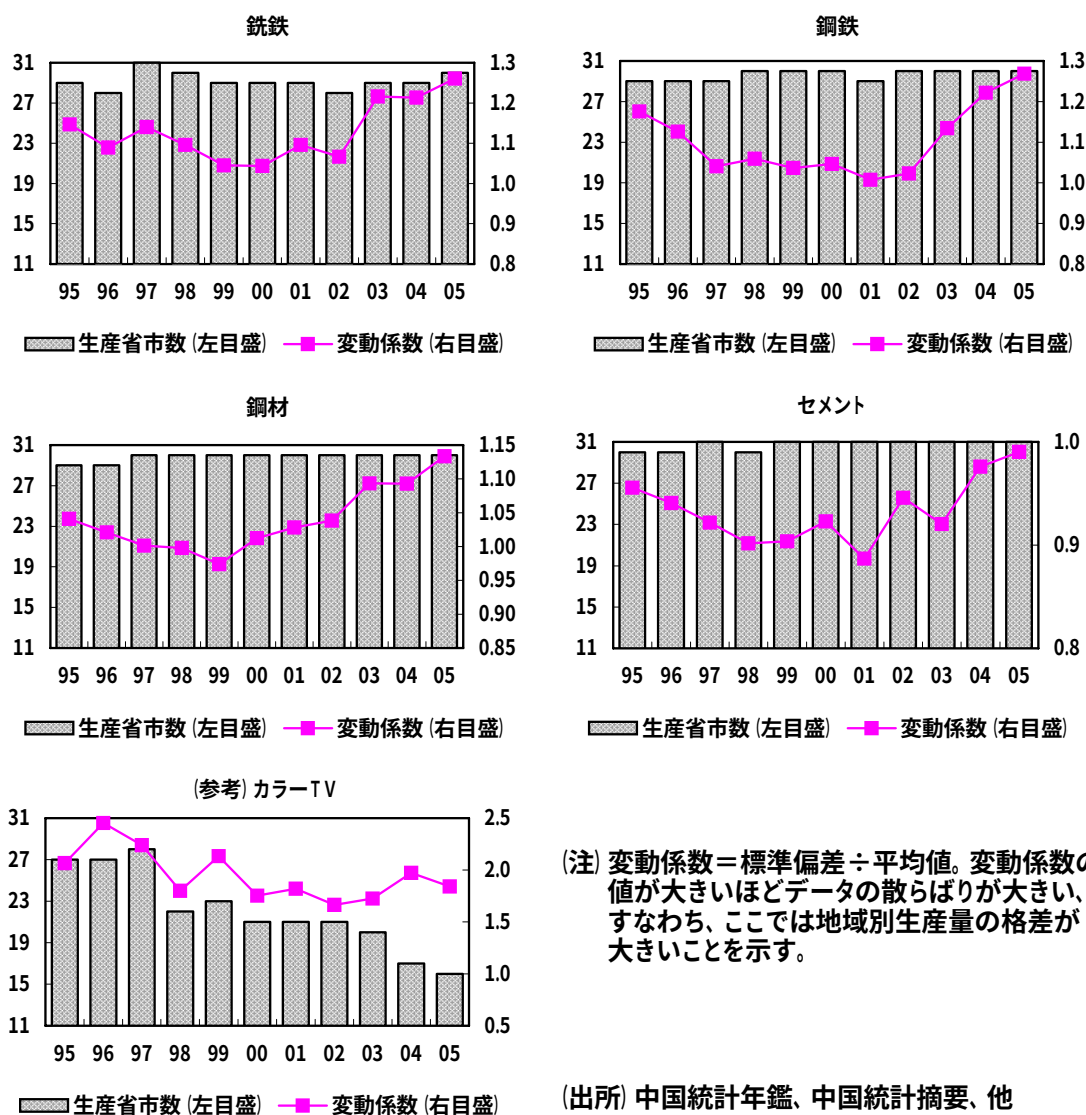




(出所) CECI、中国経済統計快報

また、セメント、鉄鋼類は31ないし30の省・市・区で生産されているというものの、地域別の生産量格差に近年、拡大傾向が見られる。これは中期的に生産効率が高い地域に生産が集約される可能性を示唆していると考えられる（図表6）。

図表6. 過熱業種で広がる地域別生産量格差



◇ ゆっくりと進む「過熱体質」の改善

今年から始まった第11次5ヵ年計画では「交通輸送業の優先的発展」や「近代的物流業の強力な発展」が謳われている⁴。これにより競合による淘汰という市場メカニズムが発揮される環境が整備され、カラーTV部門でみられたように、地方分権化の弊害とみられる分断化された市場を前提とした「過熱体質」とその結果としての過剰生産の是正が進むことが期待される。ただし、市場メカニズムの浸透による体質改善効果はちょうど漢方薬の効き方がそうであるようにゆっくりとしたものであると思われる。

調査部 野田麻里子(mariko.noda@murc.jp)

(補遺) カラーTVの省・市・区別生産台数の推移

	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
合計	2057.74	2537.60	2711.33	3497.00	4262.00	3936.00	4093.70	5155.00	6541.40	7328.80	8288.87
広東省	763.92	1128.53	1021.24	1176.24	1999.26	1471.41	1593.04	1793.40	2527.64	3626.13	3948.86
山東省	65.82	69.44	159.50	153.39	224.91	254.77	373.73	450.09	553.29	716.98	1026.72
四川省	309.19	485.40	582.57	771.47	554.84	558.61	525.49	809.35	899.89	688.54	781.49
遼寧省	23.87	50.15	68.06	170.58	229.28	374.39	377.77	404.83	451.41	356.11	566.21
江蘇省	250.72	258.34	282.06	394.14	387.40	285.18	318.65	382.14	474.73	436.75	386.52
福建省	148.35	102.92	128.14	146.89	184.53	204.19	174.07	226.62	252.66	284.61	373.98
安徽省	20.29	8.57	18.25	45.49	85.92	156.13	226.27	302.09	265.25	250.86	266.16
内蒙古自治区	27.09	17.02	11.58	3.43	12.54			126.70	134.30	237.49	239.15
河南省	20.54	27.22	21.20	55.70	102.42	90.91	101.90	125.49	158.37	164.20	178.65
上海市	111.77	42.59	70.42	107.80	152.05	147.97	108.71	137.02	158.41	135.08	145.62
浙江省	55.10	36.27	41.40	47.72	43.26	17.36	17.35	46.34	94.04	104.25	128.54
江西省	27.44	20.25	7.88	3.68	29.94	19.56	30.15	44.86	64.10	72.62	89.10
貴州省	0.62	1.22	5.22	7.01	12.42	22.04	23.11	32.25	42.69	62.22	74.10
天津市	109.54	117.80	59.16	47.87	50.34	72.28	51.42	76.35	112.41	99.62	64.85
吉林省	5.37	3.08	42.99	166.34	153.93	89.88	44.42	41.88	78.55	82.90	50.82
陝西省	28.62	54.01	76.19	97.83	115.46	80.31	50.62	81.48	136.23	0.50	0.48
北京市	50.16	31.24	38.92	11.13	11.72	0.56	0.25				
河北省	0.27	9.61	3.60								
山西省	0.45	0.11	0.12			10.15	12.12	24.18	16.07	9.94	
黒龍江省	11.87	59.13	65.13	82.00	100.09	15.59	28.56	15.80	61.00		
湖北省	8.89	5.60	3.03	4.62	7.85	3.47	0.21	0.09			
湖南省	1.49	1.10	0.41								
広西チワン族自治区	6.58	3.81	2.07	2.56	0.06						
海南省	1.17	0.76	0.52	0.10	0.01						
重慶市			0.15		27.34	50.78	33.94	33.51	60.30		
雲南省	4.72	2.45	1.26								
チベット自治区											
甘肅省	3.31	0.68	0.20	0.29	0.10	0.02	1.92	0.08	0.06		
青海省											
寧夏回族自治区											
新疆ウイグル自治区	0.59	0.30	0.08								

生産省市区数	27	27	28	22	23	21	21	21	20	17	16
--------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(注) データは05年の生産台数の多い順。空欄は生産台数100台未満ないし0。重慶市の直轄市昇格は97年。

(出所) 中国統計年鑑、中国経済統計快報

※本レポートに掲載された意見・予測等は資料作成時点の判断であり、今後予告なしに変更されることがあります。

⁴ 日刊中国通信 2006年4月10日号。